

社会福祉



いっしょに 働きませんか？

2025年4月1日採用
新規採用職員募集(P3)



ふだんの
くらしの
しあわせ

トピックス

- 令和5年度 事業報告、決算……………P2・3
- 赤い羽根共同募金……………P4・5
- いちのみやボランティアフェスティバル……………P6・7
- 介助犬について……………P9
- 福祉施設の地域貢献活動紹介「葉栗の郷」……………P12
- ボランティア紹介リレー「irie fam」……………P13

令和5年度 事業報告



6月7日に理事会、6月24日に評議員会を開催し、令和5年度事業報告及び決算について承認を受けました。
詳細については、本会の事務所、ウェブサイトにてご覧いただけます。

主な事業の振り返り

1

地域福祉活動推進事業

会員会費等を財源として、社会福祉事業を支援し、地域福祉活動を推進しました。

たとえば
こんなこと

支会長・民生児童委員会 合同研修の開催

福祉課題の共有やその課題解決に向けて必要な事業・連携先などについて協議しました。



2

ボランティアセンター 活動事業

地域住民の社会貢献に関する理解と関心を深めるため、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行いました。

たとえば
こんなこと

各種ボランティア養成講座の開催

ボランティア活動参加へのきっかけづくりや、技能を要するボランティア活動のための、養成講座を開催しました。



3

障害児・者福祉活動事業 (赤い羽根共同募金配分金事業)

障害者団体・施設への助成や、ユニバーサルスポーツを通じての社会参加促進等を行い、障害児・者福祉の推進を図りました。

たとえば
こんなこと

ユニバーサルスポーツ 体験交流会の開催

年齢・性別・障害の有無等にかかわらず、さまざまな方がボッチャ、シッティングバレー等を通して交流しました。



4

生活支援体制整備事業

地域において多様な生活支援サービスを提供する仕組みを構築するため、各種団体の連携強化を図りました。

たとえば
こんなこと

「ちょこボラサービス」の実施

住民相互の助け合いによる会員制の生活支援サービスを実施しました。



5

居宅介護支援事業等

介護支援専門員が介護保険法に基づく、居宅介護支援及びあんしん介護予防事業における介護予防ケアマネジメントを行いました。

6

相談支援事業

相談支援専門員が障害児・者及びその家族等からの相談に応じ、問題解決に取り組みました。

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

令和5年度 決算額

収入

(単位：円)

介護保険・障害福祉サービス等	188,558,553	23.6%
補助金	149,253,886	18.7%
受託金	76,560,260	9.6%
会費	52,565,150	6.6%
共同募金配分金	33,495,393	4.2%
寄付金	3,739,602	0.5%
その他	87,065,269	10.9%
前期末支払資金残高	206,147,245	25.9%
合計	797,385,358	100.0%

収入決算額 797,385,358 円



支出

(単位：円)

居宅介護等事業	221,270,176	27.7%
法人運営事業	181,344,719	22.7%
地域福祉活動事業	53,059,285	6.7%
相談支援事業	45,298,062	5.7%
共同募金配分金事業	38,409,946	4.8%
居宅介護支援事業	37,369,892	4.7%
一宮市受託事業	13,030,965	1.6%
福祉サービス利用援助事業	10,486,274	1.3%
ボランティアセンター活動事業	8,928,497	1.1%
貸付事業	7,599,692	1.0%
自販機設置事業	1,912,797	0.2%
基金運営事業他	13,971,623	1.8%
当期末支払資金残高	164,703,430	20.7%
合計	797,385,358	100.0%

支出決算額 797,385,358 円

2025年4月採用 一宮市社会福祉協議会職員を募集

▼職 種／一般事務

▼応募資格／①1989年4月2日から2003年4月1日までの生まれで、大学を卒業または2025年3月に卒業見込みの方

②普通自動車運転免許を有する方(2025年4月1日時点での保有者も含む)

▼選考方法／1次試験＝一般教養・小論文・グループ面接

2次試験＝個別面接

※1次試験は11月10日(日)に一宮市社会福祉協議会尾西支部(一宮市尾西庁舎4階)で実施

▼採用人数／3名程度

▼初任給／207,000円程度(地域手当を含む)

※2025年3月卒業の場合

▼応募方法／10月21日(月)までに申込書を提出 提出方法はメール、持参、郵送(消印有効)のいずれか

▼その他／受験案内・申込書は本部で配布

(本会ウェブサイトからダウンロード可) <https://www.138sk.org>



○上記募集の申込書の提出先および問合せ

〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階 TEL85-7024 info@138sk.org

一宮市社会福祉協議会総務課 総務管理グループまで

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



運動期間 10月1日～3月31日

今年も10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

皆さまから寄せられた募金は、一宮市内の各種福祉活動への支援や県内の社会福祉施設の整備や大規模災害時の備えなど「じぶんの町を良くする活動」に役立てられます。

今年度も皆さまのあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

ぬりえ

赤い羽根の赤色は
勇気と良い行いのシンボルです



スマホからも、
募金できます♪



より広く、より多くの方々に
募金活動にご協力いただけるよう、
さまざまな方法で実施しています。

募金方法

- ・街頭募金 10月1日(火)、10月6日(日)、12月8日(日)に尾張一宮駅前ビル、商業施設などで
- ・戸別募金 町内で各世帯から
- ・職域募金 会社で働く社員の皆さんから
- ・法人募金 企業としてご協力いただく
- ・学校募金 児童・生徒の皆さんから
- ・ネット募金 ホームページ上から申込み、コンビニなどで



支える人も 支える募金



令和6年度の目標額
42,400,000 円

一宮市における地域福祉活動のために、
必要な金額を算出した目標額です。

募金のつかいみち

募金額の約81%は一宮市の福祉のために、
約19%が 愛知県内の広域的な活動や災害支援に使われています。

令和5年度実績額
37,057,856 円

ご協力ありがとうございました。



福祉実践教室での
高齢者疑似体験の
様子です

たとえば 子どもたちのために

- ・市内の全小中学校で様々な体験を通じた福祉実践教室を行っています。
- ・福祉善行児童・生徒表彰等を行っています。

たとえば 高齢者のために

- ・ひとり暮らし高齢者を訪問して安否確認と救急情報キットの配付をしています。
- ・数え100歳の方への長寿祝い訪問をしています。
【令和5年度対象者】 122名



かかりつけ医や緊急連絡先など救急情報を入れる救急情報キット通称「いちみんキット」です



市内には2つの
おもちゃ図書館
があります
（「おもちゃの城」
「なかよし」）

たとえば 障害のある方のために

- ・就学前の幼児と障害のある児童を対象にした「おもちゃ図書館」では、遊びを通じて楽しいふれあいと、子育ての情報交換の場を提供しています。
- ・貸出用車いすの修繕や消毒をしています。

たとえば 地域共生社会実現のために

誰でもすぐに楽しめるユニバーサルスポーツの体験を通じて、年齢、性別、障害等に関係なく交流を行い、つながりをつくっています。



みんなでポッチャを
楽しみました！

赤い羽根共同募金にご理解と
ご協力をお願いいたします。

事務局

一宮市共同募金委員会
(社会福祉協議会内) TEL 85-7024

いちのみや ボランティアフェスティバル2024 ～みてさわって備えよう～



入場無料

記念品進呈

来場先着500名および
アンケート協力者

日
時

10月20日(日)10:00～15:00

※ガラガラ抽選は15:30まで

会
場

一宮スポーツ文化センター

1～4階(一宮市真清田1-2-30)

※無料駐車場はございませんのでご了承ください。



会場アクセス

スポーツ文化センターの
ウェブサイトが開きます

「ボランティア」
...よく聞く言葉だけど、
どんなことをしているんだろう？

ボランティアしたいんだけど
なにから始めればいいのか...



一宮市内には
どんなボランティアがあるの？

週末に子どもを連れていける
楽しいイベントないかな♪

災害が多くてなんだかコワイ

そんなお悩み解決します!

☆一宮市で活動するボランティアがブース出展!

30をこえるボランティアグループが皆さんをお待ちしています。

体験を通して楽しくボランティア活動にふれてみませんか？

体験ラリーに参加することでガラガラ抽選にもチャレンジできます♪

☆ガラガラ抽選、フードコーナー、バザーなど
楽しい企画が盛りだくさん!

一日楽しく過ごせるイベントです♪

コーナー紹介は7ページをチェック!

☆今年のメイン企画は「防災」※会場4階にて
じぶんや家族を守れる力を身につけよう!



主催:ボランティアつなげ隊138※ / 社会福祉法人一宮市社会福祉協議会

後援:一宮市 / 一宮市教育委員会 / 株式会社アイ・シー・シー

※「いちのみやボランティアフェスティバル実行委員会」は「ボランティアつなげ隊138」に
名称が変わりました。

楽しい企画紹介♪

※4階抽選会場で
見せてね
このページを見せると
スタンプがプレゼント!

その1 体験ラリー&ガラガラ抽選(2~4階)

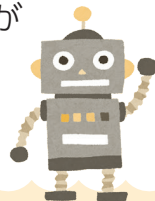
会場内のブースでボランティア体験をするとスタンプがもらえます。
スタンプ5こで1回抽選、10こで2回、15こで3回……。たくさん体験して、
楽しくボランティアにふれてみよう♪ ※スタンプカードは会場内で配布します。
※抽選会場は4階です。



おもちゃ病院が
やって来る♪

おもちゃ病院からのお願い

- ・原則無料ですが、部品代をお願いすることもあります。
- ・エアガンなど危険なもの、ゲーム機などメーカー保証があるもの、骨董品や時計などは修理できません。
- ・その場で修理できない場合は入院してもらいます。後日、別会場での引取りをお願いします。



その2 ふれあいフードコーナー&バザーコーナー(1階)

愛情たっぷりのみたらし団子、パン、壱番屋(ココイチ)さんのカレーなどを販売♪お茶を飲みながらゆっくりできるので、会場図を見て、次に行く場所を考えながら腹ごしらえ。社会福祉法人施設などのバザーもあります。※販売は無くなり次第終了となります。

その3 防災体験コーナー(4階)

今年のメイン企画は「防災」! 災害が起きたとき、一宮市はどうなるのか? 避難所にはなにがあるのか? 自分のため家族のためになにを備えればいいのか? 楽しい体験をとおして防災についてしっかり学び、実際にみて、さわって、備えをすすめましょう!



その4 フードドライブコーナー(1階)

提供いただいた食品は市内でこども食堂を運営されている団体や、生活に困っている人を支援する団体の活動に活用されます。皆さんのあたたかいご支援をお待ちしています!

○受け取れる食品

①常温保存ができるもの ②賞味期限が2か月以上先のもの ③未開封のもの

以上を満たすもので、ご家庭に眠っている食品があればお持ちください。

<具体例>お米、乾麺、缶詰、インスタント食品、カップめん、調味料、お茶など

×受け取れない食品

・アルコール、開封済み食品、賞味期限表示がないもの、生鮮食品など

※受付可否が不明な食品は事前にお問い合わせください。【問合せ】本部 Tel.85-7024

その5 ステージコーナー(1階)

ボランティアグループによるステージ出演! 和太鼓演奏やベリーダンスなど。
赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール入賞者表彰式も【11:20~】



その6 だいたいフェスタお菓子プレゼント(3階)

小学生以下のお子さまにお菓子をプレゼント♪

- ・天候その他やむを得ない事情により、開催を中止することがございます。
- ・駐車場(有料のみ)に限りがありますので、公共交通機関でのご来場にご協力ください。

協力会員希望者向け ちょこボラサーサービス説明会

ちょこボラサーサービスの協力会員に興味がある方に向けた説明会を開催します。
ボランティア活動に興味のある方やちょこボラサーを知りたいという方は
ぜひお気軽にご参加ください。

開催日	・11月 8日(金) 13:30~14:30 ・11月11日(月) 13:30~14:30 ※説明会は2回とも同じ内容です。どちらかにご参加ください。
開催場所	本部 (栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)
申込方法	11月5日(火)までに下記URLまたは 右記二次元コードから申込みフォームでご応募、 https://forms.gle/XhZRKpHGqkKEZRMRA もしくは本部(Tel85-7024)までご連絡ください。



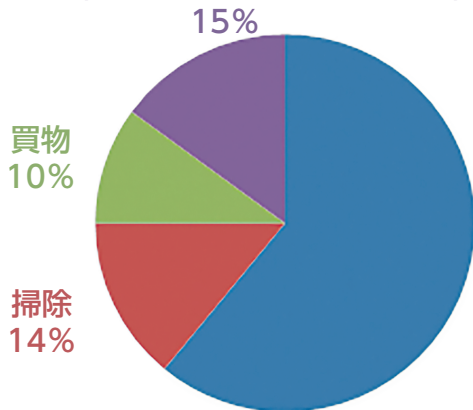
ちょこボラサーサービスの概要

◎ちょこボラサーサービスとは?

高齢の方が日常生活で感じるちょっとしたお困りごとを地域で支え合うためのボランティアです。利用を希望される【利用会員】とボランティアをしてくださる【協力会員】を社会福祉協議会がおつなぎしています。

◎主なボランティア内容

その他(電球の交換やゴミ出しなど)



◎協力会員の思い

- ★退職後に地域のために活動したかった。
- ★人のためと思っていたが、続けていく中で、自分のためにもなる活動だと思うようになった。

◎協力会員として活動するには?

活動に賛同し協力できる方は【協力会員】として本会へ登録していただきます。できる人が、できることで支える活動なので、資格は一切不要です。

◎活動時間

月曜~金曜 (平日のみ) 8:30~17:00
活動単位は30分で1回あたり最大1時間30分です。

【問合せ】本部 Tel85-7024

介助犬を知っていますか？



本会では、毎年子ども盲導犬教室を開催していますが、受講生から介助犬についても知りたいとのご意見をいただきました。そこで、社会福祉法人 日本介助犬協会へ取材に行ってきました。

介助犬とは

介助犬とは手や足などに障害がある、肢体不自由の方が日常生活で困る場面において、物品を運ぶ、ドアを開けるなど、日常生活のお手伝いをする補助犬の一種です。※視覚障害のある方は盲導犬、聴覚障害がある方は聴導犬がサポートをします。



社会福祉法人 日本介助犬協会とは

介助犬の育成をしている団体です。介助犬の啓発活動も行い、介助犬を一人でも多くの人に知ってもらうように活動しています。

介助犬の課題について

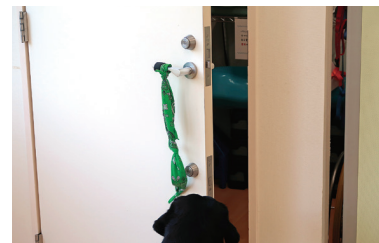
認知度の低さが問題です。介助犬を知ってもらうためにイベントの参加などPR活動に力を入れています。なかなか広まっていけない現状があります。活動資金についても支援をお願いしています。

PR犬のピト君です。介助犬は人が大好きで、楽しく仕事をしています！

皆さんへ伝えたいこと

現在、日本で59頭(2024年4月現在)の介助犬が活動しています。一方、潜在的に介助犬が必要な人は1万5千人ほどいると言われています。必要としている方に知ってもらうように、理解が広がるように、多くの人に介助犬について知ってほしいです。皆さんに知ってもらうためにも、介助犬総合訓練センター(長久手市)では毎月見学会を開催していますので、興味のある方はぜひご参加ください。ウェブサイトから申込ができます。

⇒ <https://s-dog.jp> (日本介助犬協会ウェブサイト)



介助犬は肢体不自由な方の生活を支えてくれるだけではなく、寄り添う姿から心の支えにもなってくれるとの話がありました。介助犬のおかげで前向きになった方もいらっしゃることで、改めて大切な存在であると感じました。

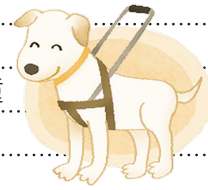
現在愛知県では4頭の介助犬が活動をしているそうです。町中で活躍している姿を見かけることがありましたら、優しく見守ってください。

10ページにて、補助犬の一種である盲導犬について学べる講座情報を掲載しています！

こども盲導犬教室

実際の盲導犬を見ながら、訓練方法や正しい接し方を学びます！

日時	12月23日(月) 14:00~15:30
会場	尾西庁舎6階 大ホール(東五城字備前12)
対象	市内在学・在住の小学5・6年生で盲導犬に関心のある児童
定員	80名(応募多数の場合は、初参加の6年生を優先し抽選)
受講料	無料
申込み	10月31日(木)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで ご応募ください。 https://forms.gle/hwPwEqRD9xnyndXq7



気軽に学べるスマホ講座

スマホで悩んでいる方、スマホを活用したい方、楽しく学びたい方に1人1台のスマートフォンをお貸しして基本操作を体験します！

日時	11月12日(火) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00
会場	社会福祉協議会 本部(栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)
対象	市内在住の65歳以上でスマホの操作方法にお悩みの方
定員	各回20名(応募多数の場合は、未受講の方を優先し抽選)
受講料	無料
内容	『スマホならではの機能』の体験
講師	ソフトバンク株式会社認定講師
申込み	10月25日(金)必着 往復はがきを使用し、往信用はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号を明記のうえ、お申し込みください。〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「スマホ講座担当者」あて ※当落結果を返信用はがきでご案内いたします。
その他	スマホをお持ちでない方、ソフトバンク以外の携帯会社の方も参加できます。受講日時は①②のいずれかで、事務局にて振り分けさせていただきます。ご希望には添えませんのであらかじめご了承ください。



初心者向け料理教室(全2回)

料理をしたことがない方に向けた、無理なく料理を始めることができる講座です。

日時	11月22日(金)、29日(金) 10:00~12:00
会場	一宮生活協同組合 生活センター(末広2-19-1)
対象	市内在住の65歳以上で両日ともに参加できる方
定員	12名(応募多数の場合は、未受講の方を優先し抽選)
受講料	1,000円(両日分)
持ち物	マスク、エプロン、三角巾、手拭き用タオル、台拭き、布巾、水分補給用飲料
講師	修文大学 健康栄養学部 管理栄養学科 准教授 小島 真由美氏
申込み	10月31日(木)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームで ご応募ください。 https://forms.gle/ibLumyXRUvxH7tpF8
その他	駐車場には限りがございます。できる限り公共交通機関などをご利用ください。



認知症を知ろう! 第1回

認知症は、誰もがなる可能性があるとともに、誰もが関わることになるかもしれない身近な病気です。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、本人や家族だけでなく、一人ひとりが病気について理解し、対応のポイントを知っておくことが大切です。

今回から複数回にわたり認知症の症状や対応の仕方、早期発見のポイントなどについてお話しします。

認知症って何？

脳の病気によって記憶力や判断力が低下する病気で、日常生活に支障が出るまで低下した状態を認知症といいます。認知症には多くの種類があり、症状もさまざまです。



主な症状

記憶障害

さっき聞いたことが思い出せない

見当識障害

時間、季節、場所の感覚が薄れる

理解・判断力の障害

思考スピードが遅くなり些細な変化で混乱する

実行機能障害

手順が分からず、物事を進められない

中核症状

行動・心理症状

抑うつ、怒りっぽい、もの
とられ妄想、不眠など

認知機能が失われる「中核症状」と、性格や環境などの要因が絡み合ってあらわれる「行動・心理症状」があります。

認知症の代表的な種類

アルツハイマー型

認知症の半数以上を占めます。
同じ質問を繰り返す、日にちが分からない
などあります。

血管性

脳の血管の詰まり、破裂により発症しま
す。そのため手足のまひがあることも多
く、意欲の低下がみられます。

レビー小体型

実際にはないものが見えるなどの幻覚や、
手足の震えなどのパーキンソン症状があり
ます。

前頭側頭型

人格や行動の変化（同じパターンの行動を
繰り返したり、自分本位の行動が目立つ）
や、言葉の障害があります。

老化によるもの忘れ

- ・体験の一部を忘れる
（食事の内容を忘れる）
- ・約束をうっかり忘れる
- ・日常生活への支障がない



と

認知症

の違いは？

- ・体験そのものを忘れる
（食事をしたことを忘れる）
- ・約束自体を忘れる
- ・日常生活への支障がある

第2回へつづく

社会福祉法人 元気寿会 葉栗の郷

社会福祉法人元気寿会葉栗の郷では、地域貢献活動として様々な取り組みを行っています。今回はその中から買い物ツアーについて施設長の石黒さん・生活相談員の村山さんに取材しましたのでご紹介します。

買い物ツアーの取り組み

市内では別の社会福祉法人による浅井町連区での取り組みを皮切りに、いくつかの地域で同様の買い物支援が行われています。（いちのみやの社会福祉2018年6月号P8.9参照）

活動内容

毎週火曜日の午後に施設近隣の市営島村住宅の方を対象に買い物ツアーを実施しています。この取り組みはデイサービスの送迎車両を活用して、近隣のスーパーまで希望者を送り届け、時間になったら市営島村住宅まで戻ってくるというものです。2019年からスタートしており、コロナ禍も休むことなく買い物ツアーを実施し、毎回8名程の方に利用されています。また、歩行器やシルバーカーが乗せられるように送迎車両としてハイエースを活用し、なるべく多くの方が利用できるように工夫をしています。

<買い物ツアーの様子>



活動のきっかけ

「近所にスーパーがなく買い物に困っている」と聞いたことがきっかけで、市営島村住宅の皆さんと話し合いを重ね、「法人としても地域の役に立ちたい」という思いから買い物ツアーの取り組みを始めました。

活動を通して

買い物ツアーの参加者から「買い物に行けて助かる」と感謝いただき、取り組みをして良かったと感じます。また、買い物ツアーの時間中は皆さんお喋りに花を咲かせており「会話が楽しい」ということもお聞きし、コミュニケーションのきっかけになっていることを嬉しく思います。

取材を終えて...

葉栗の郷では買い物ツアー以外に、右記のようなデイサービスに地域のボランティアさんに来てもらい利用者さんとの交流も行っているとのこと。また、涼しくなった際には施設の周りの清掃活動や近所の幼稚園とコラボした取り組みをしていきたいと伺いました。今後も取り組みを広げていただき、ぜひまたお話を伺いたいです。





ボランティア紹介リレー

第33回

今回は『さんSUN♡すまいる』さんからの紹介で、『irie fam(アイリー ファム)』さんをご紹介します!

子育て中のママ、子どもを応援している「irie fam」さん。さまざまな活動をされていますが、今回は「防災ママカフェ®」について、代表の小川さん、鈴木さんにお話をうかがいました!

「irie fam」ってこんな団体



中学の同級生である鈴木さん(左)と小川さん(右)

『ママの笑顔は子供の笑顔に、子供の笑顔はママの笑顔に』

子育て中のママたちが、実際に子育てをしながら感じたこと、思ったことを一緒に考えます。SDGsに積極的に取り組んでおり、フードパントリーや防災などに力を入れています。イベントの企画は2人ですが、当日の運営は参加者を含むいろいろな方に協力してもらっています。ちなみに、「irie」はパトワ語で幸せという意味、「fam」はファミリーのことです。

「防災ママカフェ®」とは?

いつ起きるか分からない災害に備え、親子で防災意識を高めるために行っているイベントです。不定期ですが、東日本大震災が起きた3月と、防災月間の9月の開催を目指しています。実際の災害の映像を見たり、被災したママの体験談を聞いたりして、いざそのときに何ができるかを話し合ったり、非常食を試食したりします。津波や、被災地の映像を流すと、辛くなって退席される方もいらっしゃいますが、本当に災害が起きたときは目を背けることはできないので、少しこらえてみてくださいとご案内をしています。カフェという名前がついていることで、興味をもっていただけたらと思いますし、堅い雰囲気ではないので、気軽に参加していただきたいです。防災に限らず、ママたちの交流の場になることを目指しています。



やりがいとは?

2人でわいわい話し合っって企画を考えたり準備をすることが本当に楽しいです。「楽しい」と感じる方向に向かい、いやなこと、つまらないことはやらない!結果的に参加される方の「楽しい」につながっていると感じています。試行錯誤しながらなんとなくやっていたら続いているという感じですが、来てくださる方に喜んでもらえたら嬉しいです。

最後にひとこと!

防災に正解はないと思います。備えていてよかったというものを増やせるといいですね。自分に合った備えとワンアクションをおうちで考えてみてください。お子さんに、自分の一番大事なものを聞いてみて備えたり、家の中でどこが一番安全かを話し合ったり。「防災」と聞くと、難しそう、つまらない、面倒くさい、怖いなどのイメージがある方もいらっしゃるかもしれませんが、お子さんと一緒に楽しみながら学んで、大切な家族の命を守りましょう!何から始めればよいかわからないという方、ぜひ「防災ママカフェ®」にお越しください。

「irie fam」さんウェブサイト⇒<https://irieinity138.wixsite.com/iriefam>
※基本的に情報発信はSNSのみです。



おすすめ福祉の本

ボクはじっとできない



図書館で借りることができます。

バーバラ・エシャム/文 マイク&カール・ゴードン/絵 品川裕香/訳
岩崎書店

おちつきがなく、いつも先生に怒られてしまう男の子デイビッド。なぜ自分は失敗ばかりするんだろうと考えていました。ある日、すばらしい解決策を思いつきますが…!?

ADHD(注意欠如・多動性障害)の子どもが、自分で「気づき」、対策を「見つける」物語です。自分の困りごとに気づき、解決策を発見することはだれにとっても大切です。そんな考え方を、紹介してくれるすてきな絵本です。

令和6年度 一宮市社会福祉協議会会費

ご協力ありがとうございました。

会費納入金額 51,604,780円

2024年7月31日現在

地域福祉への参加の一環として、本年度も会員加入および会費のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

ご納入いただいた会費は、全額各連区に設置されている社会福祉協議会各支会を通じて、敬老会や見守り活動など地域福祉推進のための取り組みに活用させていただきます。



2024年4月1日～7月31日現在
合計1,181,675円

(敬称略・順不同)

エス・ビー建材(株) / (株)一宮看板店 /
坂井田ビル / 中部経済新聞 尾張支社 /
東五城ふれあいサロン /
一宮市役所建設関係退職者親睦会 /
ユニー(株)ピアゴパワー妙興寺店 /
ユニー(株)ピアゴ尾西店 /
ユニー(株)アピター一宮店 / 他匿名5件

ユニバーサルスポーツの紹介

「アーチェリー」



アーチェリーでは2種類の弓が使用されています。一般的な弓である「リカーブボウ」と、先端に滑車がついて小さい力でも引くことのできる「コンパウンドボウ」です。障害に応じた補助装具の使用が認められており、自分の身体のサイズや筋力に合わせてカスタマイズされた弓を使用し、50m・70m先の的を狙います。大会では、競技によって勝敗の決め方が異なるのも特徴です。リカーブは3射を1セットとして各セットのポイントを競い、コンパウンドは15射の合計で決まるなどいくつかの違いがあります。

他の種目でよくみられる「身体機能によるクラス分け」が無い競技種目もあり、障害の有無にかかわらず、同じ条件で競技ができるスポーツでもあります。脚で弓を支えたり、口で弦を引いたり、義足での立位、椅子や車いすを使うなど、選手の多様なプレースタイルが魅力です。

車いす
使用の職員
発信

車いすと いっしょに



第23回 「スムーズな買い物のために」

今回は7月から新しい紙幣が発行され始めたことにちなみ、買い物の際に私が心がけていることを紹介します。1つ目は「手持ち金の整理」です。お釣りが出たときにそのまま受け取れるよう、財布のポケットにはなるべく空きを作ります。お釣りの枚数を減らせるよう工夫しつつ、できるだけ後ろの人を待たせないようにしています。

2つ目は「お店の下調べ」です。外観や店内の様子を事前に写真で見られると、車いすでの買い物をイメージしやすいのでありがたいです。また、この連載の初回(2017年6月号)で支払い方法のひとつとして取り上げた「交通系ICカード」が使えるとたいへん便利なため、買い物先選びの目安にしています。

実際に店へ着いた後は、商品を手取る前に店内の様子をひととおり確認することもあります。レジの動線によっては、買った品物を抱えた状態での方向転換が必要です。どうしてもやや時間はかかってしまうため、ご理解いただくとありがたいです。(小鹿)



広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

縄文のムラから今のムラへ

福井県の三方町縄文遺跡

三方町には、12ヶ所の縄文遺跡が確認されています。1万年以上前の草創期から晩期(およそ2300年前)までです。古三方湖のほとりを中心に9ヶ所、三方湖の南西岸や水月湖などに広く分布しています。長さ5m程の丸木舟が出土しており、この舟で漁労や他集落との交流を行っていたようです。

古三方湖にある鳥浜貝塚で発見された物には、漆塗り(うるしめり)の土器、木製品、糸などがあり、赤色漆と黒漆が塗られていました。これは、若狭塗のルーツと考えられています。(参考:若狭三方縄文博物館常設展示図録)

また、エゴマ、シソ、ヒョウタン、アサ、ゴボウ、豆類などの栽培植物の種子が出土しています。縄文の人は、半農半漁の生活であり、日本の海岸沿いの200年前のムラと大きな違いがなかったのではないかと感じられます。(日置)



三方町内の縄文遺跡分布図(全12ヶ所)
平成14年度三方町縄文博物館秋季企画展図録p 21

能登半島地震の発生を受けて ボランティア活動について考える(その2)

(前号の続き)次に東日本大震災が発生しました。この時の災害ボランティア活動は、阪神淡路大震災で学んだことと、その後の災害ボランティアの啓発活動が少しずつ功を奏して、未曾有の大災害であったにも関わらず、阪神淡路大震災よりも迅速な活動を行うことができました。

そして今回の令和6年能登半島地震が発生しました。二つの大災害で得た教訓を元に、さらに災害ボランティアの意識も進み、本当に求められている必要な支援を迅速に汲み取り行動に移すことがさらに可能になってきたと感じています。かくいう私も所属する手話サークルを通じて現地の本当に必要としている物資の依頼を直接受けることで、知ることができ迅速に準備してまとめて届けてもらうことができました。

ところで、現地に行くこともできない、物資も準備することもできない多くの一般の方は復興のお手伝いをするにはできないのでしょうか?そんなことはありません。

その答えは地震発生直後に私と一緒に活動し、実際に能登にもお手伝いに行った方からいただきました。現地に行って直接ボランティア活動をすることも大切ですが、受け入れられる人数には限りがあります。

現地に行けなくとも、その地域の物産展などで被災地の商品を買うことによる経済支援も我々でもできる復興への応援であると現地を実際に見た方からのメッセージです。

私は現地で活動することができず、これを紙面にしてお伝えすることしかできませんが、現地に行かなくてもいろんな方法で被災地を応援することが可能で、被災地を想い、日頃の行動を変えて被災地の物産を購入するという行動は復興を手助けする立派な災害ボランティアの一部と言えるのではないのでしょうか?

私も今後も取り組んで行きたいと思います。(岩下)

令和6年能登半島地震の復興支援 ～災害ボランティアバスを実施しました～

令和6年能登半島地震から半年が経った7月、稲沢市社協と合同で災害ボランティアバスを実施しました。

社協職員含む参加者41名で石川県珠洲市へ向かい、7月6日(土)の朝から夕方まで、被災地支援活動にあたりました。

活動の詳細等については本会ブログにも掲載しておりますので、下記URLまたは二次元コードからご覧ください。

被災地の復旧・復興に向けてはまだ道半ばの状況です。皆さまにおかれましても現地を思い、支援を続けていただくと幸いです。



URL→(<https://jp.bloguru.com/138sk>)

二次元コード→



津波で焼物窯のレンガにセメントが付着したため、削り取る作業の様子。1つ1つ手作業で削るため、人手が必要です。



支援依頼とボランティアのマッチングをする様子。活動を終わると一旦センターに戻り、また次の依頼を受けることもあります。



?応募!クイズ

図書カード
¥1,000

「いちのみやボランティアフェスティバル2024」のメイン企画は? ヒント6ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします! ハガキもしくは下記応募フォームのいずれかでご応募ください。ハガキの場合は①クイズの答え②本紙に対するご意見・ご感想③住所④氏名⑤年齢を明記ください。

【2024年10月31日(木)まで(消印有効)】
〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて
応募フォーム

<https://forms.gle/HdYNEv2G6KmXwoGz7>



6月号クイズ当選者発表(応募総数49通)
今枝様(今伊勢町)丹野様(木曾川町)入山様(神山)川島様(西成)内藤様(神山)
クイズの答え:こどもボランティアスクール

市内の福祉・保健・ 医療関係者の皆さまへ 広告募集中

【掲載枠】1枠 縦55mm×横80mm	最大4枠
【掲載料】1回1枠 20,000円	複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(Tel:85-7024)まで



本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト <https://www.138sk.org>